SIC KAWARABAN 12月号 No.223
令和４年（2022年）12月1日（木） Sagamihara Incubation Center さがみはら産業創造センター 編集・発行

入居企業紹介 その200

SIC に入居されている企業様をご紹介します。

“世代を超えたコミュニティづくりに貢献する！”

【Desk10会員プロフィール】

ＩＣＨＩＫＡ
代表　永井　詩子（ながい　うたこ）

永井さんは名古屋市出身で、お父様の転勤で相模原に引っ越してきました。当時、市内の高校に通いながら日本テレビ音楽学院の“ザ・バーズ”でも活動しました。

色んな人と心を通わせるため、お酒を飲みながら、歌をうたいながら楽しむ時間を大切にしているとのこと。ＳＦやファンタジー物の映画が好きな、二児のママでもあります。また、現在、ＦＭＨＯＴ８３９（エフエムさがみ）のパーソナリティーとして、「ヨッチーノ石井のアゲアゲマンデー」に毎週出演※しています。

※月曜日20:00～20:55放送

【コミュニティの大事さを知る】

葬儀の関係の仕事に就き、シニアの方々の生きがいや悩みに接することで、自分自身が“聞き手”となり、相手にとっての幸せを見つけたり、サポートしたりすることが得意なことに気付きました。内気ながらも「これは！」と感じたら行動に移すことが早い永井さん。出産後、自身が身に着けたベビーマッサージをママ友に教えることで、そのコミュニティが徐々に大きくなっていきました。母として我が子が健やかに育って欲しい、自分の手で愛情を注ぎたいという思いを共有しながら、技法を教える（サポートする）ことができました。自分だけでなく、コミュニティ全体で幸せを体現していくことの楽しさを得て、その尊さを実感したことが、永井さんの原体験となっています。

【ＩＣＨＩＫＡの活動】

ＩＣＨＩＫＡという事業名は、永井さんの愛息・愛娘の名前によるものです。永井さん自身が育児とご両親の介護の両立に大変な思いをした経験から、育児世代のママたちを応援するためのリラクゼーションやセラピーをサービスとして提供することを決意しました。はじめは小さな活動から始まり、やがて共感し、協力してくれる仲間が徐々に集まりました。そのコミュニティで「働きたくても育児とうまく両立できる仕事が少ない」という現実に直面します。それでもメンバーは人と接して社会に貢献できる仕事を求めています。そこでＩＣＨＩＫＡは、ママたちが自分の特技を活かしてお教室を立ち上げ、サポートする仕組みづくりに取り組んでいます。サポートが必要なシニア層に向けてのサービスも始めました。情報が溢れているにも関わらず、その伝達手段のほとんどがＩＴに依存していて、結果として必要な情報がシニア層に届いていない状況を解決するため、ママたちによるシニア向けスマホ教室を始め、人気メニューの一つとなっています。

また、働き方改革が叫ばれる昨今、働きたい女性を受け入れる企業を探し、時間的な制約の多いママたちが活躍できる環境づくりにも挑戦し、この理念に共感していただく企業も少しずつ増えています。

【これからの目標】

世代を超えたコミュニティづくり“ＩＣＨＩＫＡプロジェクト”が広がり、多くのメンバーで活動できるように成長させていきたいと考えています。そのためにはビジネスとしてこのプロジェクトを進めていかなくてはなりません。必要とする人にサービスを提供すること、それがビジネスとしての“価値”として成立させる。今はまだスタートラインに立っている段階ですが、たくさんの笑顔と幸せが生み出すための持続的な事業活動になるように、活き活きと着実に前に進んでいきます。

ＩＣＨＩＫＡ

Desk10 会員
URL：https://www.ichika-prj.com（ＨＰ準備中）
問い合わせ先：mama@ichika-prj.com

入居企業トピックス

11月の新聞掲載記事紹介（11月25日時点）

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。
ご紹介する記事はSICに掲示していますので、ご覧ください。
また紙面に掲載された場合、スタッフに教えていただけると幸いです。

１１月号	Ronk株式会社　相模原商工会議所会報 ―デジタル無線技術で音を快適に届ける―
１１月１１日	高瀬総合法律事務所　かながわ経済新聞 ―事業承継で出てくる「お金」の問題―

節電のお願い

冬季、電力需給ひっ迫の恐れがあります。入居企業の皆さまにつきましても、廊下の空調の温度を下げる、使わない場合は OFF にするなど節電へのご協力をお願いします。

SIC では共有部の空調や照明の節電を行います。

期間 令和4年12月1日（木）～令和５年3月31日（金）

The HINT58 SICミニセミナー

“連携先の探索”から“資金調達”まで‼
支援機関＆大学発ベンチャーに聞く“産学連携”成功への道筋

産学連携による大学や研究機関との共同研究に際しては、多くの場合、様々な課題に直面します。今回の TheHINT は、「産学連携」を契機とした開発とその事業化を後押しするため、中小企業が大学などと共同研究を進めるうえで押さえておくべきポイントについて理解を深めます。

第１部 15:00～	**中小企業における産学連携のポイント** 一般社団法人 首都圏産業活性化協会（TAMA協会） 産学官連携コーディネーター　堺 奈都 氏
第２部 15:30～	**科学技術振興機構の産学連携支援制度** 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 産学連携展開部 マッチングプランナー 青柳 重夫 氏
第３部 16:00～	**大学発ベンチャーによる研究成果の事業化** 株式会社SUNAMI（東海大学発ベンチャー） 代表取締役社長　砂見 雄太 氏（東海大学 工学部 機械工学科 准教授）
第4部 16:30～	**金融機関における産学連携支援の取り組み** ・横浜銀行 相模原駅前支店 ・きらぼし銀行 連携推進部 ・日本政策金融公庫 厚木支店

【日　　時】令和4年12月8日(木) 15:00～16:45
【会　　場】WEB開催（Microsoft Teams）
【参 加 費】無料（定員30名）
【担　　当】樽川（内線：2023）

お申込みはこちら

SIC空室情報

（令和4年１２月１日現在）
※お気軽に大谷・稲垣までお問合せください

現在、空き室はございません。
最新の情報は HP をご確認ください。

年末年始の休業について

年末年始のセンター事務室のお休み及びゴミの収集についてお知らせします。

センター事務室のお休みについて

令和4年**１２月２９日（木）**から 令和5年 **１月 ３日（火）**まで

ゴミの収集について

最終日 令和4年 **12月30日(金)**　　開始日 令和5年 **1月 4日(水)**

今年も開催

第7回フリーマーケット in SIC 開催します！

【日　　時】令和4年12月23日(金) 10:00～14:00
【会　　場】SIC-2　1Fロビーにて
【担　　当】相場（内線：1000）、佐藤（内線：2000）

キッチンラボについて

既にお知らせの通りセラム・グループ社のランチ営業は11月25日で終了しました。なおディナーは完全予約制にて12月28日(水)まで営業を予定しています。(予約受付は2日前まで。最終受付は12月26日(月))ぜひ忘年会等にご利用ください。

ご予約はQRもしくはkadokura@selam-group.comまで

消防訓練のご報告

11 月 17 日に実施した消防訓練にご参加いただき、ありがとうございました。防災に際しての SIC からのお知らせです。

- SIC-1 に AED、SIC-2 には担架・車椅子・毛布の用意があります。
- エレベーター内にはエレベーターチェアが備えてあり、非常用のトイレ・食料・サイリウムが入っています。
- 各企業様は万一の備えとして、社員の方用に３日分の水や食料、防寒シート、簡易トイレの備蓄をお願いします。

編集後記

2022年は税関、鉄道、東京国立博物館などが創設150年を迎えました。大政奉還から5年でこれらの制度、産業、文化施設ができた目まぐるしさに驚嘆します。インタビューした永井さんは育児・介護で一変した生活で心と身体の健康が大切だと実感したそうです。今年は特に生活が一変しました。健康を優先して2023年を迎えたいものです。

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話：042-770-9119 FAX：042-770-9077 ホームページ：https://www.sic-sagamihara.jp
発行元：株式会社さがみはら産業創造センター（SIC） 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail：koho@sic-sagamihara.jp